



学校だより 夏休み号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

「自分の生活」を見つめ直そう

～「健康で安全で楽しい夏休み」を～

登校時にはすでに30度を超える毎日が続きましたが、子どもたちは暑さに負けることなく学校に通い、元気に夏休みを迎えました。保護者の皆様には、例年にはない厳しい気候でお子様の体調管理にも気を配ったことと存じます。日頃のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

「経験のない」という文言を今年は幾度となく聞きます。大きな災害が我が国を襲い、毎日の猛暑は命を奪う危険さもあります。被害に会われた方々には心よりお見舞いを申し上げます。そして、尊い命を失くした子どもたちがいたことには、本当に胸がつぶれる思いがいたします。毎日、子どもたち一人ひとりが、元気に登校し、友だちと楽しそうに下校をしていくことのありがたさを改めて痛感する日々でした。このような災害が起きるたびに、私たちはなす術がないのかと打ちひしがれた思いに駆られますが、少しでも、災害から学び、次へ備える力を身に付けたいと思います。

夏休みに入るにあたり、子どもたちが全力で何かに取り組むためにも「安全な夏休み」であることを心より願います。一口に「安全」と言っても、大きな自然災害が突然来てしまったとき、小学生に何ができるでしょうか。本校では、昨年度より、6月の「地域参集訓練日」を「防災教育の日」として、防災について考える機会をつくっています。また、毎月行われる「避難訓練」では、「外にいるとき、先生も家族もいないときに何か起きたらどうするか」を家族と話し合っって約束事を決めること、近所の人と助け合えるように、日頃からあいさつをかわすこと、「子ども110番の家」や「わんわんパトロール」（犬の散歩をしながら子どもたちの見守りをしてくださっている地域の方々）の皆様にご助けを求めると等を、繰り返し子どもたちに話しています。また、毎年、「緑園青少年居場所作り協議会」主催による「避難所生活体験」も夏休みに行われています。

夏休みは、子どもたちが家や地域で過ごす時間やふだんとは違う場所に出かけて過ごす時間が増えると思います。ぜひ、夏休みに入るこの機会に、ご家族で「何かあったときにはどうするか」、ご家庭としての約束事を話し合っってみてください。そのことが、子どもたちが具体的に災害をイメージして、自分がどのように行動するかを考えることにつながります。

いざという時にとっさに自分で自分の身を守ったり、日頃から安全な生活のしかたについて具体的に考えたりすることは、これからの時代にとっても大切な力です。そのためにもまず、自分の健康をしっかりと管理すること、規則正しい生活や交通ルールを守ること、安全な行動について注意を払うこと等、基本的な生活習慣をよく見直してほしいと思います。また、今夏は特に暑さに対する身構えが必要です。

地域の皆様には日頃より、子どもたちの見守り活動にご協力をいただきまして本当にありがとうございます。暑い中でも変わらずご協力いただきましたことに頭が下がる思いでございます。

また、校外委員の皆様には、今年もこの時期に、「子ども110番の家」や「わんわんパトロール」の皆様へ、子どもたちの安全見守りのお便りを配布していただきました。ありがとうございました。

6月の大阪での地震を受けて、横浜でも学校施設の点検や通学路の点検をいたしました。保護者、地域の皆様には、ご近所で新たに気づいた危険な箇所がございましたら、学校までご一報をいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。